

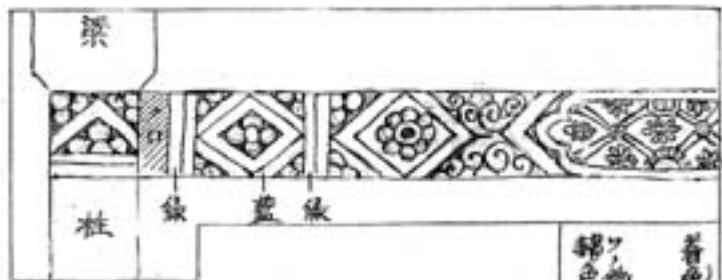
紫禁

紫禁城實測帳

明治三十四年

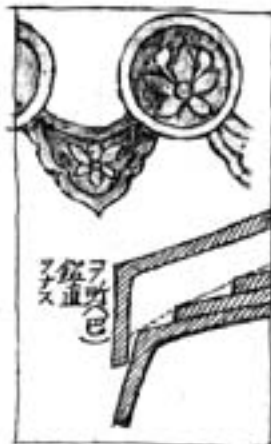
伊東忠大





着色 辰漆墨
 靑
 藍
 ツ、他、色、赤、色
 銀、色、等、アリ

巴の銘道ヲナシ唐草に交て前方へ
 突出す、尤瓦の半内ヨリモ滞シ
 ○桁ノ裝飾画モノ偏一律ナリ實中人意
 左、如シ





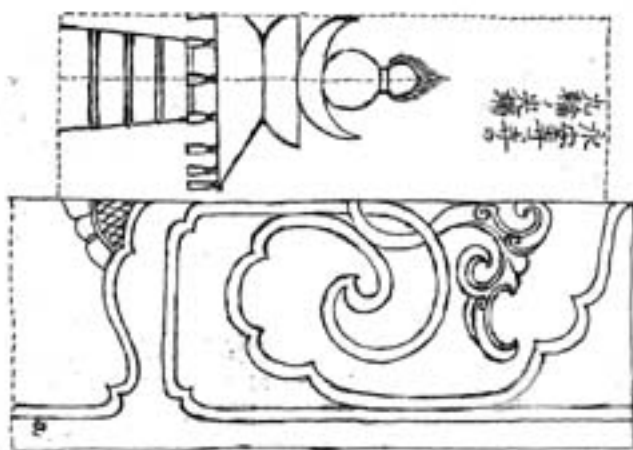
黄寺(ラマ宗)
本堂三尊
中尊釈迦
須弥壇ノ前ニ卓ヲ置キ其上ニ
八宝ヲ陳列ス



内殿四隅と新如き樓アリ其ダ不思議ナル
形状ナリ二層ニテ上層四方入母屋葺中央
ニスツルハ冠トシ



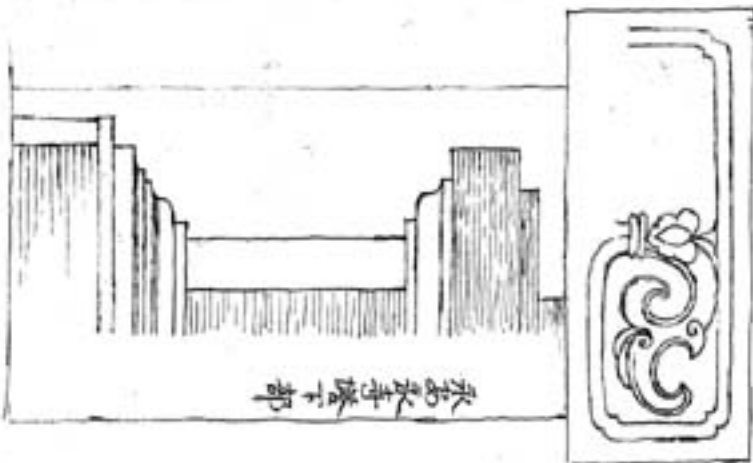
左右大菩薩相對シ
三尊ノ兩側ニイライラマノ像ヲ置ク



日本と随ふ点ノ二

- 一 橋高欄等ニハ宝珠ヲ用ヤサル
 - 一 斗拱ハ凡テ鎌倉以後ノワタ組ニテ鐘
杵木ノ柱ノ位置ニ關係セサル
 - 一 鬼斗ヲ用ヤサル
 - 一 ガヘルマニハ殆ト皆無ナル
 - 一 唐破風ヲ見サル
 - 一 扇タルキハ隅丈ケニテ扇ニナル
 - 一 宝形屋根ニ宝珠ナキ
 - 一 ムタリ破風ヲ見サル
 - 一 決シテ箕甲ナキ事
- 日本ノ古代建築ト全シキ点ニ
- 一 鬼斗ナキ
 - 一 地カキ丸クシテ飛椽多ク用ナル
- 特殊ナ点
- 一 特殊ナ点
 - 一 根天竹等ノ裝飾
 - 一 陶器ノ用途
 - 一 棧橋
 - 一 正堂彫刻ナキ
 - 一 壁面

奈良
長原
足利
徳川
桃山



大徳寺下層

屋根

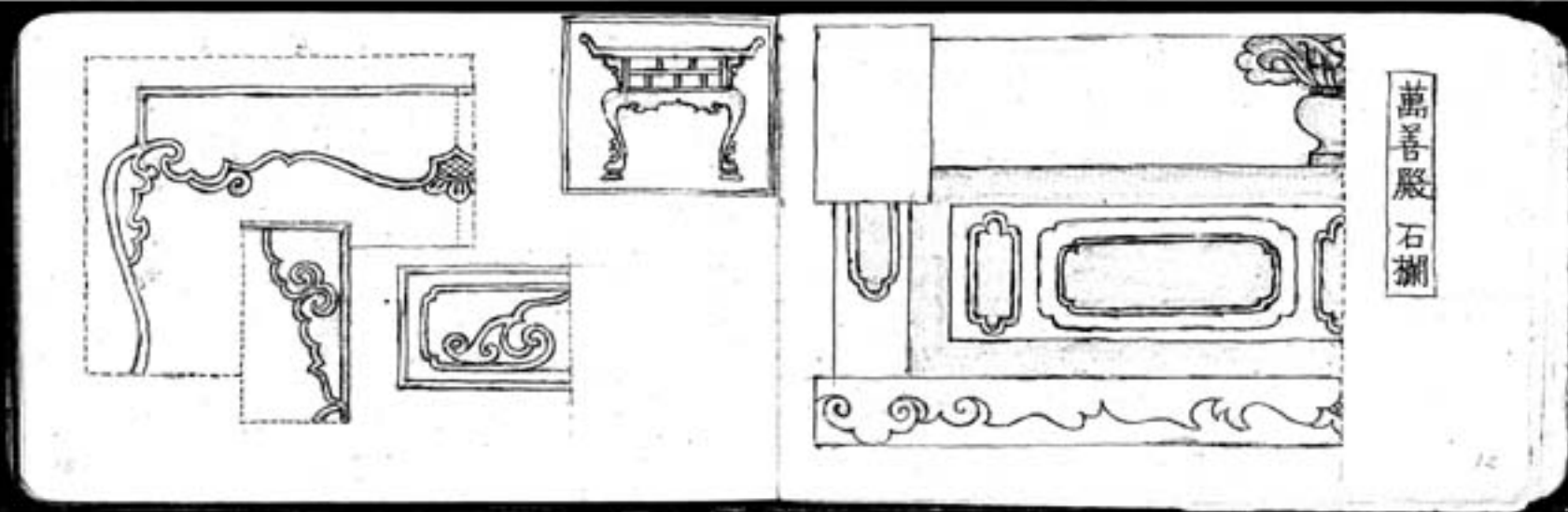
必ス常ニ木瓦葺ナリ、
 宮殿ハ石瓦ヲ用テ、其色黄、碧、藍、
 紫アリ又コシインセルアリ、
 例
 マーシンの碧石ニシテ中ヲ黄トセルモノ
 マーシンの碧ニシテ中ヲ紫トセルモノ
 マーシンの黄ニシテ中ヲ藍トセルモノ
 マーシンの黄ニシテ中ヲ碧トセルモノ
 コノ外赤、褐色ノモノモアリ、黒色ノモノ
 モアリ、
 又平葺ノ上ヲ菱形ニシテ替ヘテ装
 飾スル法モアリ、
 瓦ヲ用ユル部分ハ屋根ノ外隅本
 鬼形アルハ奇ナラコト場合ニハ鷹木ノ才
 蛇ノ腹ノ如キ彩色法ヲ用ユ
 棟ノ形、西端ノ獸形、南棟ハ二鬼ノ代リニ
 騎鳥ノ獸ノ人ヲ置キ又ニ獅鳥馬等
 ノ坐形、散節ヲ陳列シテ少クハ二三多キハ
 十餘ニノ鬼ノ棟ト全式ニ獸形ヲ用ユ
 鮮ヒクハ別ニ記ス、
 下ノ棟ノ端ハ二鬼ト全式ナリ、
 凡テ西類ハ入母屋ニテ殿類ハ四法ナリ。

屋根の形の変化多キ

- 一四注(棟ノ幅アルモアリ)
- 一入母屋
- 一円錐形
- 一多角錐形(頭ヲ平キセシモ下ノ切妻)

右ノ如クビ子ノシヨシハ二層ノものにて

- ①下方形ニテ上九キモノ
- ②上下共ニ下方形ナルモノ
- ③上下共ニ尤キモノ
- ④上下共ニ多角形ノモノ
- ⑤上ノ四注ナルモノ
- ⑥上ノ入母屋ナルモノ
- ⑦上ノ切妻ナルモノ
- ⑧上層四方ノ鳥破縁入母屋ナルモノ





●裝飾に用ゆる動物の種類

龍 獅 鳳 白 麟 羊

（秋種あり）

獅子 鳳凰 馬 麒麟

羊 如きモノニ羽翼（蝙蝠）アルモノアリ

○裝飾に用ゆる自然物

中山

乙水

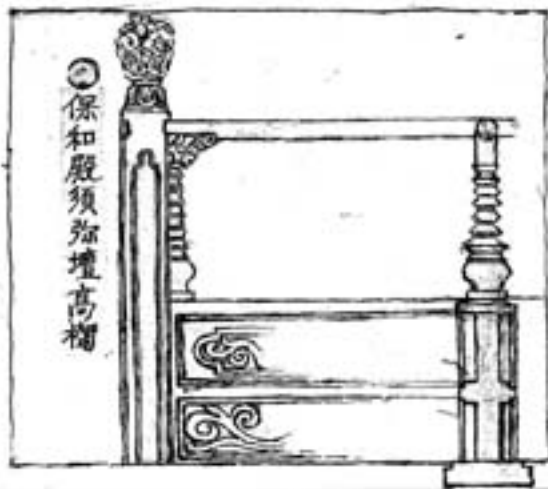
丙

丙 雲々多ク龍鳳と伴フ而して左耶は、
 於テ龍鳳ヲ用ヘ多クと極めて是も文リ、
 雲々亦た多く用ヤられ、
 疾ハ一處ヲナスモノアリ、
 或ハ敬ミテタナヒクものもあり、形ハ一様
 ナラズ、



○欽定皇輿西域圖志
光緒庚辰日季冬杭分
便益書局石印
合十二冊

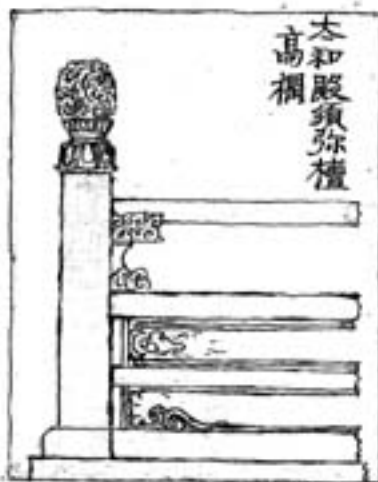
○乾清宮棟獸形



中和殿玉座椅子



本和殿須弥檀
高欄



▲疑問

一 屋蓋上ノ獸形ハ何レノ世ヨリ用ユルヤ
日本ニ於ケル聖堂ヲニ於テ皆ト全ク異ナ
ルハ如何

二 妻飾ノ極メテ粗野ナルハ如何

三 終ニ懸垂ヲ見サルハ如何

四 虹梁葦股等飾メテ粗野ナルハ如何



宮城東街建築

▲御筈前亭

七層三面重層入母屋堂、前後龍紋の石階あり、内陣スクリンに龍の画紋あり、石尖及刀の試験をふす所ニ、この殿は、天子上覧の場所ナリ

▲文華殿

天子各回大臣に湯の賜の所。

▲主教殿

天下之筆殿ニ御スル前に衣ヲ更ニル

▲文淵閣

三階ス多々式の書庫あり別に亭あり。

屋根の形異ナル

▲齋宮

天子深奇の場所あり。

前庭アリ建築形式多シ特異の点あり。

▲景陽宮

幾多珍器ヲ藏ス

▲寧寿宮

西大石の住所と云ふ、方寿山と全様の形式ヲ備ス乾隆ノ建築ト教ス。



乾清門
潤治リ

乾清宮

大棟ノ獸形

一獸其巨口ヲ開キテ大棟ヲ啣ムノ狀ヲ
 作ル、獸体ハ一種ノ畸形ヲナシ、其頭上
 と共ニ尾ノ如キ部分ノ卷縮スルヲ見ル、
 而シテ其充モ奇異トスルハ、獸体ノ上ニ
 更ニ一小龍アリ、後手ヲ以テ獸ヲ角ヲ
 摺レタリ、獸ノ背後別ニ獸頭アツク、
 其下部ニ於テ見ルベキ手法ヲ施セリ、
 按ズルニ此ノ獸形ハ明清兩時代ノ建築ニ
 通シテ之ヲ費用セリ、然モ唐宋ノ間ニハ
 鳩尾ノ角ヲ以テ此ノ如キ獸形ノ角ヲセシムル如ク、
 思フニ之ニ北方蒙古人種ノ建築法ニシテ
 中國即チ漢人種ノ建築法法ニアラサル
 ヤ、
 陽樓下ノ椽等ニ捲リモモノ亦た全一ノ
 意を表ス成レリ、

乾清宮

大棟ノ獸形



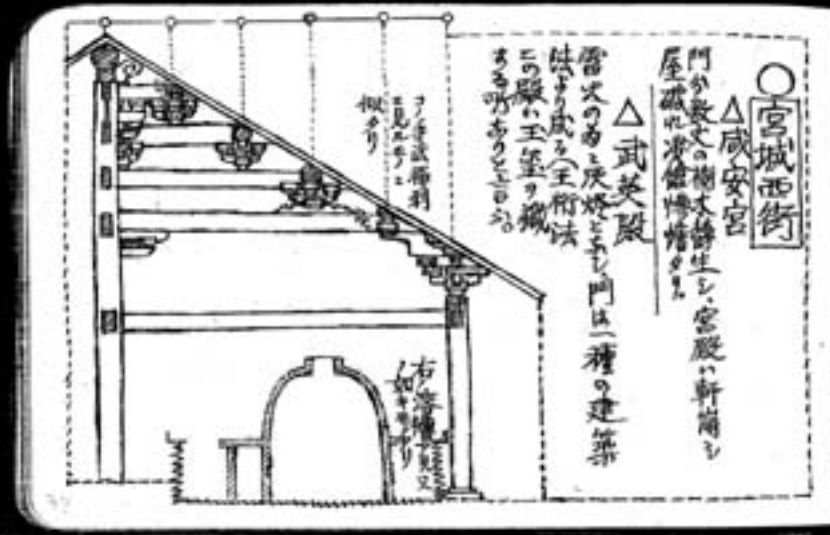


乾清宮下層屋瓦
隅棟獸形

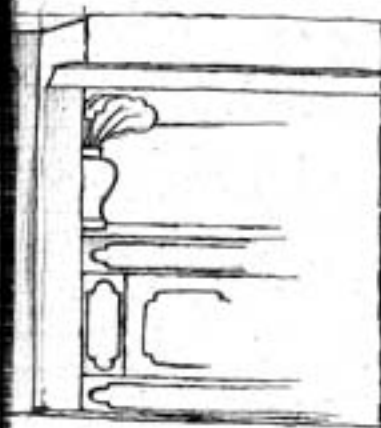
乾清宮下ノ重
水葺瓦ノ足 五寸
ハタラク 一尺寸乃至一尺二寸
九瓦葺 六寸四角
カマ草ノ葺レ 五寸
本瓦長 一尺二寸
隅ノ鬼板隅ナリノ「エレベーション」

龍九子あり、
魚吻、
狽狂、狻猊
蛭吻、
鳩尾、鷓尾、





武夷殿石欄



雨花閣

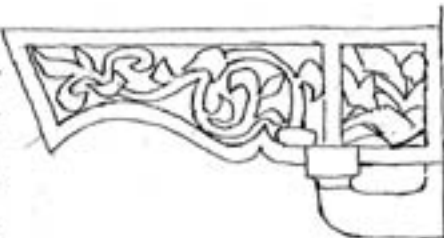
三層の櫓

△堂の花改

仙居、仁皇、其の如く、
形、其の如く、
形、其の如く、

殿、
仙居、
中堂、
西、

万壽山傳香閣
肘木ノ形ノ粗悪トナリ、その中の
椽根の拙劣ナル卷を足る
べき事あり。



塔

塔之種を大別す

① 層塔

② スツレハ

① 層塔は三層以上十層に至る多き瓦

製にして表面は陶器を張りしむ

丸輪の形をとり、モト着しと異なり、露

盤伏鉄筋化の區別を明たる丸輪の多量の

天衣をも大に上下と縮少す水煙をくとして

天蓋探の形あり、宝珠また殊異あり

要するは日本に於ける丸輪の形は何かあり

生をわらや不詳

スツレハは大体壘里、体丸輪の三層

ヨリ成る、何れも右と瓦を以て作る体の

正面は入口あり、舟後先形にて中央は佛

像を置けり

② 花輪の上、縮少スル形にして露盤ノミアリ

水煙は蓋形を有す、宝珠の代りに日月の

形あり、其上は宝珠形アルモノ多シ

バツハ、種類殆ど無数あり。



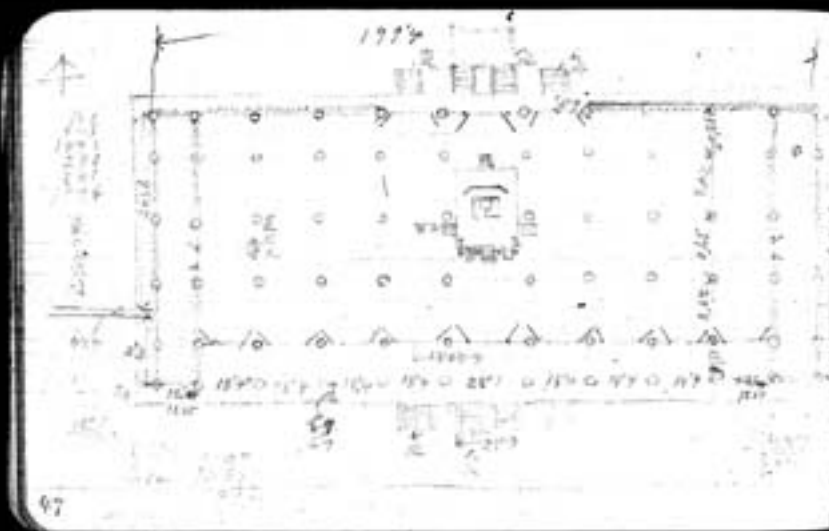
余はめりく日本塔は(甲)層塔(乙)多宝塔は
区々スレ層塔は(丙)支那の層塔(丁)東洋の
区々多宝塔ハスレハヨリ多宝塔ハスレハ
合トシテスレハヨリ形を究身セテ
減(一)より多宝塔トナル順序ヲ示セテ



即チ所謂スレハヨリ形を究身セテ
減(一)より多宝塔トナル順序ヲ示セテ
コシ層塔ハスレハヨリ形を究身セテ
減(一)より多宝塔トナル順序ヲ示セテ

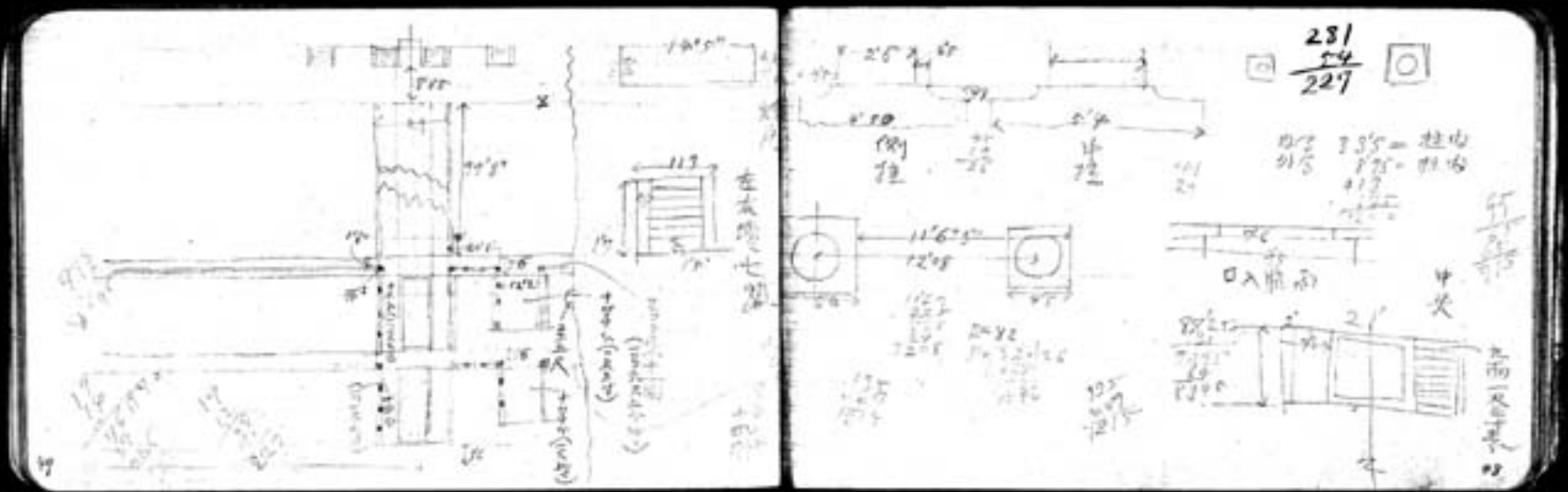


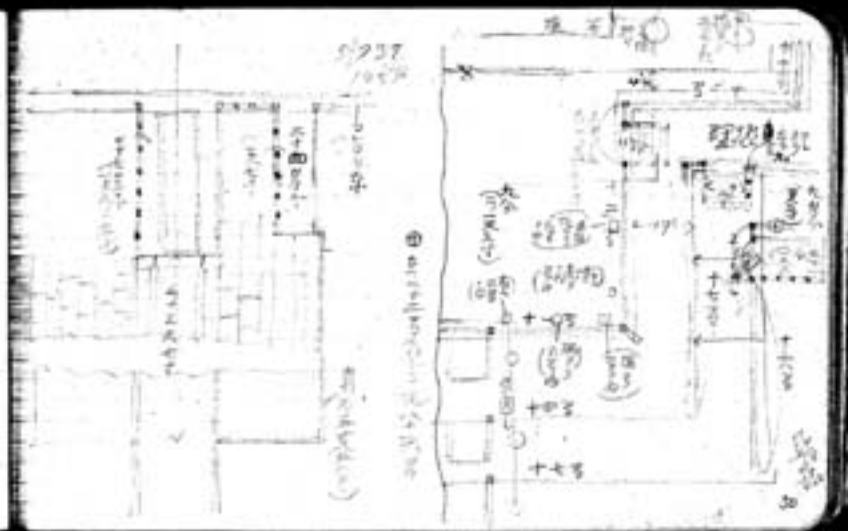
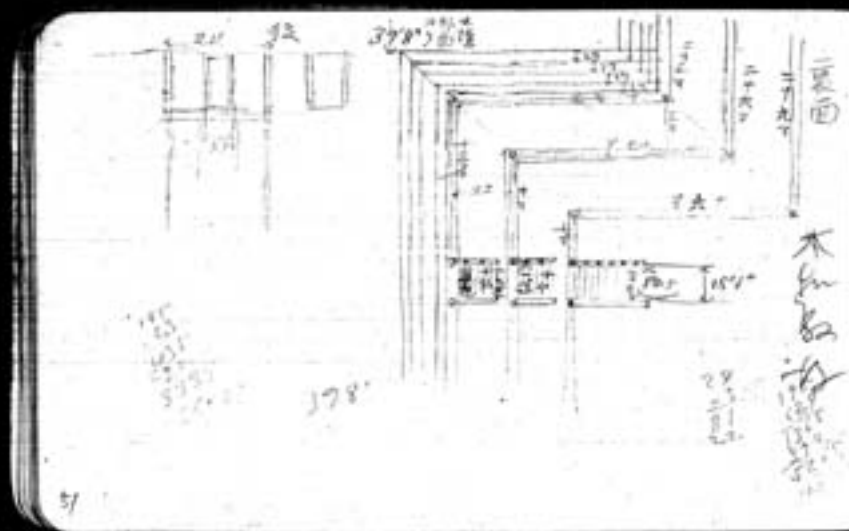
六層塔ハスレハヨリ形を究身セテ
減(一)より多宝塔トナル順序ヲ示セテ



附記 支那建築様式上ニ「ス」ハ、ヲ置ク
 多ク、コノ陽分ニハ、中ニ仏像ヲ繪ス
 常ニあり、万壽山ノ雲香殿ニハ、三ノ石ノ
 立ニテ、大和堂ノ仏堂ニハ、中央ニ、及
 四隅ノ柱ノ上ニ、各一箇アリ、其形ハ、普通
 之ノモテ、形大畧同ク如シ

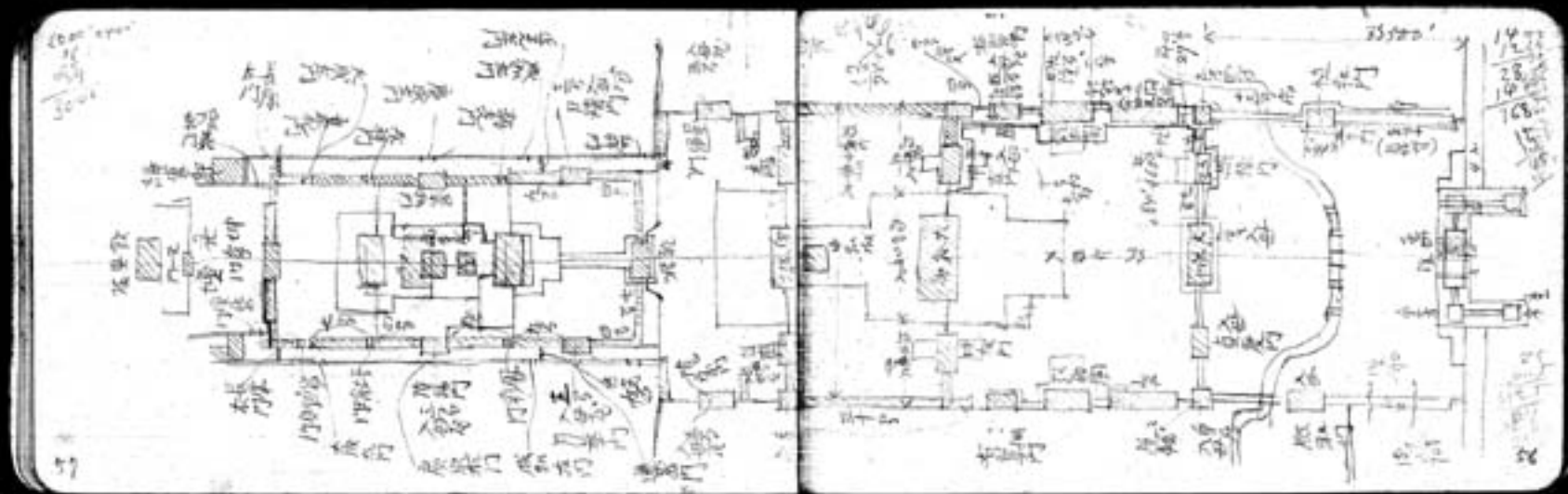
此五輪塔ノ支那ノ形ニ、於テ、空見セシメテ、
 其ノ形

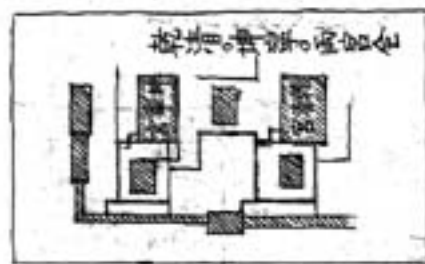


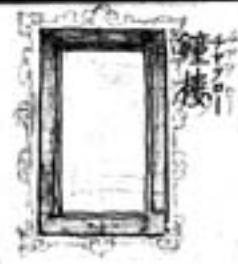
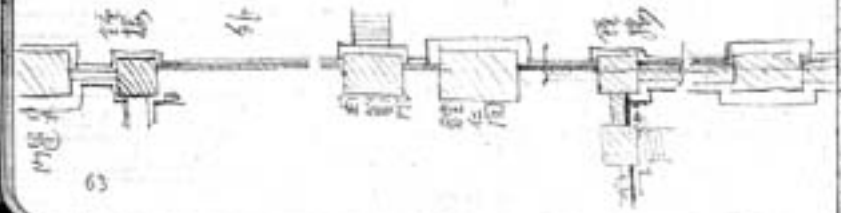


○ 天壇

新自造の各區ノ建築ミテ格ノヤ相違ナ
 シ他敷積ノ大ニ異テ一箇ハス其ノ中ハ
 正内ノ側柱申柱ヲス建ト異柱ナリ(正内)
 正内ノ敷積積在在ノ地ナリノ敷積不モコト
 ナリ敷積ノ明妙ナリ(柱不ハ在ナリ)
 外ハ三區ノ廣クテコトナリトコトナリ
 ナリコトナリトコトナリトコトナリトコトナリ
 大ニ取ノ在列不揃ナリトコトナリトコトナリ
 外敷積ノ各ミテ上ノ敷積ナリ、指積有シトコトナリ
 ナリトコトナリトコトナリトコトナリトコトナリ
 角側、如長、如短、ノコトナリトコトナリトコトナリ
 更ニ標ノコトナリトコトナリトコトナリトコトナリ
 見加隔ミテトコトナリトコトナリトコトナリトコトナリ
 内側ハ各ノ九分ナリトコトナリトコトナリトコトナリ
 時ナリトコトナリトコトナリトコトナリトコトナリ
 五人位ナリトコトナリトコトナリトコトナリトコトナリ
 月廻十二周トコトナリトコトナリトコトナリトコトナリ







外壁、内窓の外壁と千連物の向
 内諸門、扉、正面、向中
 長直板門、窓、文、板門、窓、下、進、派
 錠機



あゝ連テ行



「サマレカシ」

官製屋イニアリ

「シカホール」

より此路に寄りて印度に趣ク

「ヨル」

木造寺院ハ見ルベキモノナリ

「印度」

「埃及」
「アスチ」ニ「カレ」アリ
見ルベキ也

「健康」

土地ノ人ニ増スルガ宜シ

「エス」
「カイロ」
「人質」

「埃及」

十一月—二月迄村モ宜シ

「印度」

十二月—二月宜シ

「トルキスタン」

「夏」
「宜シ」

一 舟のハ可成ナカレシ

一 大舟二ツヨリ小舟ニテイテ宜シ

一 中舟ト大舟ヲ入ルヘシテ法女如シ

一 大船ヲ用ケルニ凡ク差敷ク用ケルソレ上ニ名
ヲ寄ラフ

一 舟ニ白紙多ク貼ラサズカバシハ銅板
ヲ最上トス (一ノ五十五席位)
ト云ハルニテ更スベシ

一 投書ニ私用書書スベシ

一 支那秘記爲門ノ船ヲ更成ラヌ

一 山田寅吉ノ舟ニモ君士ニ尼ク波船ヲ子
ト整音ノリヨク人ノ船分ニテ波船ニ入ルベシ

招提

梵云 招提者 華者 訛 招爲
招 畧ニテ 招提ト云フナリト

提者 舟ニ在リテ一ナレバト 招開全
浮屠

一 蓋シ佛陀ノ輪也ナリ

相輪、上刹、利峯、

クキカクシ、浮沓子、屈戌

環經

屋蓋

一 棟間板、屋翼、出風板

一 檼、傳風、飛檐

一 頂格、サシヤウ

一 平格、ヒラシヤウ

一 藻井

一 綺井

一 淡天花、壁

一 内井

一 覆椽

一 覆海

